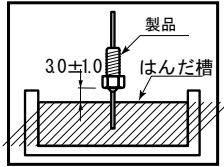


## 性能及び試験方法

### ■性能及び試験方法(貫通形EMIフィルタ)

項目		規格	試験方法																		
耐電圧		異常なく耐えること	定格電圧 DC400V未満: 定格電圧の2.5倍を1~5秒間印加する。 定格電圧 DC400V以上: 定格電圧の2倍を1~5秒間印加する。																		
絶縁抵抗		10000 MΩ以上	定格電圧を60±5秒間印加する。																		
温度特性		容量変化率 CG:0±30ppm/°C B:±10% D:+20, -30% E:+20, -55% F:-30, -80% R:±15% S:±22% SL:+350~-1000ppm/°C	印20°Cを基準として、規定温度範囲内における最大の容量変化率を表す。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>#</th> <th>CG, R</th> <th>B, D, E, F, S, SL</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>最高使用温度</td> <td>+ 125°C</td> <td>+ 85°C</td> </tr> <tr> <td>最低使用温度</td> <td>- 55°C</td> <td>- 25°C</td> </tr> </tbody> </table>	#	CG, R	B, D, E, F, S, SL	最高使用温度	+ 125°C	+ 85°C	最低使用温度	- 55°C	- 25°C									
#	CG, R	B, D, E, F, S, SL																			
最高使用温度	+ 125°C	+ 85°C																			
最低使用温度	- 55°C	- 25°C																			
はんだ濡れ性 (端子)		浸した部分の3/4以上が新しいはんだで覆われていること	230°Cのはんだ槽に3±1秒間浸す。 はんだ: H63A フラックス: ロジンメタノール																		
シェルの締め付け		異常のないこと	ナットを用いて、下表のトルクで締め付ける。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>タイプ</th> <th>締め付けトルク</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>FTA30, FTB30, FTA32</td> <td>0.294N・m</td> </tr> <tr> <td>FTT30</td> <td>0.294N・m</td> </tr> <tr> <td>FTA35, FTP30</td> <td>0.490N・m</td> </tr> <tr> <td>FTA41, FTA4D</td> <td>0.588N・m</td> </tr> <tr> <td>FTT4C</td> <td>0.392N・m</td> </tr> <tr> <td>FTP40, FTT40, FTT41</td> <td>0.588N・m</td> </tr> <tr> <td>FTA5B, FTA5C, FTB50</td> <td>0.588N・m</td> </tr> <tr> <td>FTP82</td> <td>0.735N・m</td> </tr> </tbody> </table>	タイプ	締め付けトルク	FTA30, FTB30, FTA32	0.294N・m	FTT30	0.294N・m	FTA35, FTP30	0.490N・m	FTA41, FTA4D	0.588N・m	FTT4C	0.392N・m	FTP40, FTT40, FTT41	0.588N・m	FTA5B, FTA5C, FTB50	0.588N・m	FTP82	0.735N・m
タイプ	締め付けトルク																				
FTA30, FTB30, FTA32	0.294N・m																				
FTT30	0.294N・m																				
FTA35, FTP30	0.490N・m																				
FTA41, FTA4D	0.588N・m																				
FTT4C	0.392N・m																				
FTP40, FTT40, FTT41	0.588N・m																				
FTA5B, FTA5C, FTB50	0.588N・m																				
FTP82	0.735N・m																				
端子曲げ		異常のないこと	根本より45° 曲げて元に戻し、さらに逆方向に45° 曲げて元に戻す。																		
端子引っ張り		異常のないこと	シェルを固定し、各端子の軸方向に2.0±0.3kgの静荷量を10±1秒間加える。																		
耐振動		異常のないこと	下記の可変振動をXYZ方向に各2時間加える。 周波数: 10~55~10Hz 1分間 周期: 1.5mm p-p 周波数変化の周期: 1分																		
はんだ耐熱性	外観	著しい変化のないこと	端子の長さ3mmのところまで はんだ槽に入れ、10秒間保持する。 測定は4~24時間放置後行う。 はんだ槽温度: 300±3°C 																		
	静電容量変化率	±15%以内																			
	静電正接	3.5%以下																			
	絶縁抵抗	5,000MΩ以上																			
温度サイクル	外観	著しい変化のないこと	右表に示すサイクルを 連続25サイクル行った後、 試験層から取り出し、 4~24時間室温放置した後 電気的特性の測定を行う。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>段階</th> <th>下限温度</th> <th>30分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>段階1</td> <td>常温</td> <td>5分</td> </tr> <tr> <td>段階2</td> <td>上限温度</td> <td>30分</td> </tr> <tr> <td>段階3</td> <td>常温</td> <td>5分</td> </tr> <tr> <td>段階4</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	段階	下限温度	30分	段階1	常温	5分	段階2	上限温度	30分	段階3	常温	5分	段階4					
	段階	下限温度		30分																	
	段階1	常温		5分																	
	段階2	上限温度		30分																	
段階3	常温	5分																			
段階4																					
静電容量変化率	±20%以内																				
静電正接	5%以下																				
絶縁抵抗	1,000MΩ以上																				
高温負荷	外観	著しい変化のないこと	試料を最高使用温度±3°Cの試験槽に入れ、定格電圧の2倍を1000±24時間印加した後、試験槽より取り出し、4~24時間室温にて放置し電気的特性を測定する。																		
	静電容量変化率	±20%以内																			
	静電正接	5%以下																			
	絶縁抵抗	1,000MΩ以上																			
耐湿負荷	外観	著しい変化のないこと	試料を40±2°C、90~95%RHの試験槽に入れ、定格電圧を500±12時間印加した後、試験槽より取り出し、4~24時間室温にて放置し電気的特性を測定する。																		
	静電容量変化率	±20%以内																			
	静電正接	5%以下																			
	絶縁抵抗	1,000MΩ以上																			